

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

|         |                |            |               |
|---------|----------------|------------|---------------|
| 事業所番号   | 1171600479     |            |               |
| 法人名     | 株式会社 吉田フオー     |            |               |
| 事業所名    | グループホーム 楽しいわが家 |            |               |
| 所在地     | 埼玉県上尾市中妻2-13-8 |            |               |
| 自己評価作成日 | 平成27年8月19日     | 評価結果市町村受理日 | 平成27年 10月 16日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |   |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://www.kaijokensaku.jp/11/index.php?action_kouhyou_detail_2015_022_kani=true&amp;JigvosoCd=1171600479-00&amp;PrefCd=11&amp;VersionCd=022">http://www.kaijokensaku.jp/11/index.php?action_kouhyou_detail_2015_022_kani=true&amp;JigvosoCd=1171600479-00&amp;PrefCd=11&amp;VersionCd=022</a> |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                           |
|-------|---------------------------|
| 評価機関名 | 有限会社プログレ総合研究所             |
| 所在地   | 埼玉県さいたま市大宮区大門町3-88 逸見ビル2階 |
| 訪問調査日 | 平成 27年 9月 16日             |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

個々の利用者様が、自分の家のように生活が送れご家族様はいつでも気軽に来れるよう家庭的な雰囲気大切にしています。利用者様への手作りの食事を提供し、また季節やイベントごとに行事食などを作り、一緒に頂き共に生活や食事を楽しむ事により、より家庭的な雰囲気を感じて頂く様にしています。  
また、夏祭りや敬老会などでは地域の方々と積極的に交流を持ち地域に根ざしたグループホームとなっています。今後も、いつでも誰にとっても、ここが「楽しいわが家」であるよう努めて参ります。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所理念は、「尊厳・和顔・愛護」。管理者は「人は鏡」、自分自身が写っており、どんなに大変でも楽しい気持ちがないとその気持ちや雰囲気は相手に伝わる。自分が変われば人も変わる。と言う。利用者・家族・職員を含め、皆にとって“楽しいわが家”であること、そして笑顔を大切にしている。事業所には小さな畑があり、夏はピーマンやトマト、秋は柿やミカン等、季節の野菜を育てている。利用者職員と一緒に収穫を行い、その日の食卓に上る。畑での収穫は、利用者の楽しみの一つとなっている。又、それらが地域の方の目に留まり、会話をする機会を得たり、おすそ分けをする等交流が図られるようになった。利用者本位のケアを行う事を大切にし、会議やミーティングで職員同士情報交換を行い、一人ひとりの表情や仕草を見ながら、日々個々に合った暮らしの支援を行っている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目   | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印  | 項目  | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印  |
|--|--|---|--|
| 56<br>職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)     | <input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらい<br>3. 利用者の1/3くらい<br>4. ほとんど掴んでいない | 63<br>職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   | <input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57<br>利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)           | <input checked="" type="radio"/> 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                | 64<br>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | <input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58<br>利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                 | <input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 65<br>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | <input checked="" type="radio"/> 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くいない           |
| 59<br>利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)   | <input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 66<br>職員は、生き活きと働いている<br>(参考項目:11,12)                                      | <input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60<br>利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                | <input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 67<br>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | <input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61<br>利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)       | <input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 68<br>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | <input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62<br>利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>(参考項目:28) | <input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  |   |  |

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己                 | 外部  | 項目  | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|--------------------|-----|---|---|---|-------------------|
|                    |     |   | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |     |   |   |   |                   |
| 1                  | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている  | ミーティングなどで理念について話し合い、研修・確認し、実践方法の共有化に努めている。                          | 基本理念「尊厳・和顔・愛護」とケア理念を掲げている。ミーティング時に、理念からそれていないか確認しながら、ケアに努めている。新入職員には、オリエンテーション時に教えている。          |                   |
| 2                  | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している  | 地域の祭りに参加したり、ホームの行事に地区の方々を招いたりして、交流を深めている。                           | 地域の祇園祭、盆踊り、ふれあい祭り、サイクリング大会等に参加をした。事業所で行われた納涼祭には地域の方が2名参加された。事業所の畑で採れた野菜を地域の方におすそ分けする等交流を図っている。  |                   |
| 3                  |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている  | 運営推進会議において報告や意見交換を行っている。  |   |                   |
| 4                  | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている                                     | 運営推進会議において報告や意見交換を行い、社外の意見を取り入れ運営に活かしている。                           | 2ヶ月に1回、区長、民生委員、介護相談員、地域包括職員、事業所職員が参加し開催している。行事案内や報告等を行い、市からは地域行事のお知らせを貰っている。会議で出た話を参考にケアに繋げている。 |                   |
| 5                  | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる   | 担当者と連絡を取っている。   | 市へ訪問し、報告や相談を行っている。市主催の研修、虐待研修や認知症の研修、排便管理ケア研修、実践者研修などに参加している。                                   |                   |
| 6                  | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 安全確保との兼ね合いの中で、出来る限り実践している。やむを得ないものとするものに関してはご家族様と話し合い、その上で同意を頂いている。 | 身体拘束は勿論の事、「ダメは駄目」をスローガンに、言葉の拘束についても「何が拘束に当たるか」をミーティングや、その場でその都度伝えている。玄関は安全の為施錠している。             |                   |
| 7                  |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている                                     | 日々の重要注意事項とし着脱時や入浴時に身体チェックシアザ・キズ表を作り虐待防止に努めている。                      |   |                   |

| 自己 | 外部  | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|----|-----|--|--|--|-------------------|
|    |     |  | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 自主学习となっており職員間の周知に至っていない。対応が必要な利用者には関係各所と連携を取り制度を活用できるよう支援している。       |  |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 契約時に必ず説明し理解いただき押印をもらっている。  |  |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | 常に傾聴を心がけている、外部者については介護相談員(月1回)や地域会議、家族の訪問等で設けている。出た問題についてはすぐに改善している。 | 面会時や、イベント時に行われる家族会等で、話を伺うようにしている。又、その他個別でその都度伺うように機会を設けている。意見や要望があれば対応できる様にしている。           |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | ミーティングをほぼ毎月行い、経営会議等で職員の意見や提案等が反映できるようにしている。                          | ミーティングや日々の中で意見を吸い上げている。普通食から刻み食への変更や、担当の流れを変更、ハロウィンイベントの提案・開催等、職員皆の意見を基に、より良いケアとなるよう努めている。 |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 職員一人一人の意見を取り入れた運営方法により、どうしたら良くなるか という視点で、向上心を持って働ける職場作りをしている。        |  |                   |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 必要な研修を受けれるよう情報を整理し、機会確保している。   |  |                   |
| 14 |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | グループホーム協議会を通して情報交換等をしている。  |  |                   |

| 自己                         | 外部  | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|----------------------------|-----|--|---|--|-------------------|
|                            |     |  | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |  |   |  |                   |
| 15                         |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入居前から相談員を通じてなるべく多くの情報をもらい、ご本人がスムーズに入居できるよう努めている。                  |  |                   |
| 16                         |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | 入居前から相談員を通じてなるべく多くの情報をもらい、ご家族と話し合い利用者様入居に関し不安等を取り除くよう配慮している。      |  |                   |
| 17                         |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | 入居前に、相談員を通じたり本人宅に訪問しなるべく多くの情報をもらい、ご本人がスムーズに入居できるよう努めている。          |  |                   |
| 18                         |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | 入居前に、相談員と相談しご本人にとって最善の方法を選んで頂ける様努めている。                            |  |                   |
| 19                         |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | 日々の行動や思いを大切に、一緒に外出したり、楽しいイベントを開催したり、又食事や部屋の衣替え等も一緒に行い、ともに生活をしている。 |  |                   |
| 20                         | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | これまでのご本人との関係を尊重するとともに、気軽なホームへの来所や外出へのサポートをしている。                   | 昔の近所の方や、職場の方が来所されたことがある。月に1度家族と美容院へ行く方や、通院帰りに家族と外食をしている方がいる。事業所が馴染みの場となっている方が多い。 |                   |
| 21                         |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                 | レクなど通じてなじんで頂ける様配慮している。  |  |                   |

| 自己                                 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|------------------------------------|------|--|---|---|-------------------|
|                                    |      |  | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | 入院や他施設へ転居となられた利用者様へもご家族を通じて面会をしたり、当法人内のサービスを紹介し経過をフォローしている。         |   |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |   |   |                   |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | ケアプラン会議(毎月開催)により、日々の利用者様の思いや状態について情報交換を行い、ご本人にとって最善のケアができるように努めている。 | 利用者本位で行う事を大切にしている。表情や仕草等からその時その時で対応を行っている。困難な場合は、キーパーソンに相談をしながら把握に努めている。                  |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 入居時と日々の生活の中で、ご本人やご家族へ確認をしながら職員全員で把握と共有に努めている。                       |   |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 入居時と日々の生活の中で、ご本人やご家族へ確認をしながら、職員全員で把握と共有に努めている。                      |   |                   |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 毎月ケアプラン会議を実施し情報・意見交換をして作成している。                                      | 3ヶ月に1回を基本とし、入院時等、その都度状況を見て変更している。ケアプランは、ケアマネを中心に、職員や看護師の意見も交え作成している。利用者・家族に説明を行い、同意を得ている。 |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 申し送りと介護記録により、日々の実践や情報の共有をはかり、ミーティングにて意見交換を行い介護計画に活かしている。            |   |                   |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | 常に利用者の立場に立ち臨機応変に対応している。   |   |                   |

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価   |                           |
|----|------|---|---|--|---------------------------|
|    |      |   | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容         |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | ボランティアの活用や近隣中学校からの体験学習の受け入れ。防災訓練にて消防と連携し協力している。地域密着運営推進会議における民生委員の参加及び多数の参加への働きかけ。      |  |                           |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                  | 本人又はご家族の希望を尊重し、かかりつけ医療機関に協力していただき連携し対応している。   | 月2回の集団往診がある。体調不良時は個別に通院している。内科は全員月2回・歯科は3名月2回、精神科は1名月1回利用している。夜間時は、看護師が24時間オンコールの体制を取っている。 |                           |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 非常勤看護師の配置。体調管理や健康相談の実施。医療機関受診の判断や相談を管理者と行い、受診つきそいにより、日々の生活の注意点などを医師と相談し、職員へアドバイスを行っている。 |  |                           |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時は、担当医師と家族と相談し、利用者にとって最善の方法を取ります。   |  |                           |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | 入居時におおむね家族がどのような希望をするか確認し、共有する。重度化となった場合は現状を担当医師や家族と相談し、利用者や家族にとって最善の方法を取っています。         | 事業所の看取り指針を設けている。契約時に終末期の対応について説明を行い、同意を得ている。事業所で可能な限り、限界まで出来ることを行うようにしている。                 |                           |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | 定期的に訓練を行っている。   |  |                           |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている  | 定期的に防災訓練を行い、訓練している。   | 年2回地震から起こる火災を想定し、消火訓練や通報訓練等行っている。隣の公園を避難場所としている。緊急時のマニュアルや、連絡網を設けている。防災訓練時には、地域に案内を出している。  | 災害対策について、更に強化していく事を期待したい。 |

| 自己                               | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|----------------------------------|------|--|---|--|-------------------|
|                                  |      |  | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |  |   |  |                   |
| 36                               | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                   | 理念に基づき対応している。一人一人の尊厳を守り、利用者様の生活暦などを理解し個々に合った対応に努めている。                             | 個人情報研修は年1回開催し、参加している。排泄時は、各居室にトイレがあるため、周りから見えない様に、個々に対応をしている。直接的な表現を避け、声掛けの方法を変えて尊厳に配慮している。        |                   |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | 常に利用者の希望や状態を把握し実行している。  |  |                   |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | パーソンセンタードケアの実現に向け、日々どうしたらより良いケアが実現できるか、職員間で話し合う。本人の意思を尊重し、したいこと、興味のある事を見つけ支援していく。 |  |                   |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | 利用者様の居室の職員の担当を決め、衣類の整理整頓や衣替えをしています。家族へご本人の希望などを助言するととも対応しています。                    |  |                   |
| 40                               | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている      | 利用者様の習慣を大切にして、食事はバランスよく、季節ごとの料理の工夫をしております、食事もかたづけも一緒に行っています。                      | 調理や盛付は出来る方をお願いしている。事業所の畑で夏はトマトやピーマン、秋は柿やミカン、干し柿等が採れ、季節の食材が食卓にのぼる。近所のフードコートに行き、好きなものを選択し食事をすることもある。 |                   |
| 41                               |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | 栄養バランスや水分補給に気を配っている。水分摂取量は常にチェックし、不足分については個々の好きな飲み物を提供して水分量を確保している。               |  |                   |
| 42                               |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                   | 毎日、毎食後 個々に応じた支援をしている。数名の方は家族の許可を得て訪問歯科に入ってもらい更なる口腔内の管理をしております。                    |  |                   |

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|----|------|--|---|--|-------------------|
|    |      |  | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                             | 自室にトイレがあるため、各個人快適に過ごしている。排泄表などにより、職員が排泄状況を共有し誘導や介助により排泄を支援している。         | 排泄チェック表・排便表を用いパターンを把握し、時間を見て声掛けを行っている。各居室のトイレで個別に対応している。リハビリパンツから布パンツに変った方がいる。                             |                   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる   | レク等で適度な運動を個々に行い、便秘予防は排便表で管理し看護師の対応のもと協力医療機関と相談している。                     |  |                   |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている                            | おむねの時間帯は決めているが、本人の意向に沿う。  | 本人の意向に沿いながら対応している。基本的に週2回以上入浴しているが、随時状況に合わせて対応している。拒まれる方には、無理強いせず、声掛けを工夫し、入浴を促している。入浴剤などを使用している。           |                   |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している  | 心休まる音楽などを聴いてもらったり、雰囲気づくりに気配りしている。                                       |  |                   |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている   | 個人個人の服薬や目的を理解し、管理表のもと服薬確認している。  |  |                   |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                            | 年間の行事やイベントなどを企画し、楽しめるよう支援している。日々の散歩にもご家族と一緒に掛かけたり気分転換には気をつけている。         |  |                   |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している | 散歩や買い物、ドライブなど、その人に合った、外出方法にて支援している。お花見や近隣施設の催しなどへ、地域の方又は家族と協力し外出支援している。 | 週に1度は散歩に出るようにしている。デイサービスやゲームセンター、ショッピングセンターに車で出かけることがある。近隣の牧場にソフトクリームを食べに外出したこともあり、定期的に外へ出掛ける日を設けるようにしている。 |                   |

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|----|------|--|---|--|-------------------|
|    |      |  | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 管理は困難の方が多いため、職員が行い、買い物や外食などでお預かりしているおこずかいで楽しんでもらえるよう支援している。     |  |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | ご本人の希望によりやり取りができるよう取次ぎを行ったり、家族に気軽に來ていただく配慮をしている。                |  |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 玄関や廊下に花や置物・絵・イベントの写真等をかざり季節感や家庭的な雰囲気作りに努めている。                   | 行事の写真を共有スペースに飾り、毎月思い出の写真が増えて行くことが利用者家族の楽しみとなっている。天井の飾りつけによって季節感が出されている。                          |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | 掘りコタツや食卓・ソファなどを様々な場所用意してある為、気が向いた場所で自由に過ごされている。                 |  |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | 入居時に家族と相談して使い慣れたものをお願いしている。家族の写真などを飾り本人が自分の部屋でリラックスできるよう支援している。 | ベッドやカーテン、クローゼット、洗面台、トイレが備え付けである。心地良く過ごせる様使い慣れた物を持ち込んで頂ける様お願いしている。テレビやラジオ、筆筒、机、写真や縫いぐるみなど持ち込んでいる。 |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している   | 利用者の状態に沿って環境も変えるように取り組んでいる。                                     |  |                   |